



今回、初めてWCMに参加させて頂きました。

WCM開催場所は米国東海岸アナポリス（米国ではセーリング・キャピタルと称されています。）

僕は十数年前に同地で開催された世界選手権大会へ初めて参加した事もあり個人的にも思い出深い所です。



WCMの正式スケジュールは会議前日の昼過ぎからウエルカム・レセプションが催され現在、I J C Aの本拠地でもあることもあり多くの方々が集う盛大なパーティーでした。

今回、同行して頂いた堀川女史も3日昼頃ボルチモア到着とあり、I J C A事務局ナンシー女史が空港まで迎えに来て頂きました。ボルチモア空港がアナポリスへは最も近く約30分程の道のり、ホテルに到着後WCMとAYCのウエルカム・レセプションが催されるアナポリス・ヨット・クラブへ、現在I J C Aの本拠地でもあり多くの関係者が集う盛大なパーティーで我々は少し驚いてしまいました。

とにかく喋る喋る・・・ある意味社交界のようで、レセプションは午後4時位から始まり7時位までヨットクラブで行なわれ、その後近くのレストランへ、席順も主催者側から決められ堀川女史とは遠く離れ心細かったです。

ここでも又、皆さん喋る喋る・・・最終的に終了したのは11時過ぎ、我々は明日の会議の為に打ち合わせをしましたが、何せお互い初めてなので取りあえずは事前に配布された書類に目を通し疑問点だけをチェックしました。



会議当日は朝9時からヨットクラブのOPクラスのクラブハウスで行なわれました。

初めに会長の挨拶がありその後出席者全員の自己紹介、既に議案は参加者全員にメールで配布してあるので、要点だけ絞って賛否を挙手にて行なう方法を取っており、送られて来た膨大な書類の割りにアッサリと可決されスムーズに会議は進行していきました。

セーラーとしての重要点としては、今回はジェノア・セールクロスの変更についてでした。参加国の中で多少議論されましたが、最終的に反対挙手をしたのはアルゼンチンと日本だけ。僕の反対理由はI J C A側の早急な変更に対してある一定の猶予期間を与えないとセーラーにとって不利益が生じるのではないかと思ったからでした。

しかし、WCM不参加国の多くは米国に委任が託され、I T C自体がカナダと米国によって

運営されている実情では他国が一丸とならない限り現体制のチェンジは難儀でしょうね。

今会議では、今後のJ/24クラスが方向性が主題となり多くの時間がその事に関して語られました。

会員数、J/24ボート販売数は国際的には減少傾向であるのですが、欧州の一部と南米そしてアジアの一部を対象にして今後は普及活動をして行く方向になるようです。

世界選手権は09年はアナポリス、10年はスウェーデン、11年はアルゼンチンまでが決定され、12年が米国のようです。

完全な決定議事録等は後日配布との事ですが、今だ手元には届いておりません。

個人的な感想としては、会議としては建前であり、ある意味社交界的な雰囲気強く漂っており、今後この様な国際的な接点を持つ事は大事な事ですが非常に時間的、金銭的に我国の状況や性格から考えるに難しいと思いました。

各国の代表はそれぞれ世界選手権へもボランティアとして出向いており形式的な関係では何も伝わらない事を痛感しました。



AYC ポンツーン



会議後の正式レセプション



AYC レースコミッティー



十数年前にワールドが行なわれたクラブ